

## 地域クラブのあり方は？

# 平塚ハムフェスティバル開く

＝平塚地域アマチュア無線クラブ＝

最近のわれわれハムの増加は目を見はるものがある。日本のハム人口は世界一となり、平塚地区でもその例にもれず市内アマチュア無線局は千局余を数える現状である。

16年の歴史をもつJARL登録平塚アマチュア無線クラブJA1YKBが今回発展的解消し、市内既存13クラブを統合して、名称も平塚地域アマチュア無線クラブと改め、昭和50年10月に発足し、現在5百余名のメンバーが登録されている。

趣味としてのアマチュア無線とはいえ、一旦災害など非常時には、赤十字や、地方自治体、警察などに協力して活躍することが多々あり、社会に尽力出来るだけに、その地域のハムが一体となることが望ましいことであり、従来統一されなかっただけに、大変有意義な組織の誕生である。

このクラブ発足を記念して、才1回總會と市内及び近接のハムを一同に集め平塚ハムフェスティバル・76を、10月17日(日)、平塚市浅間町崇善小学校体育館にて開催した。

当日は秋晴れに恵まれ、すでに前日準備万端ととのった会場は、ステージに菊の花もそえられ、開会を前に多くのハムが家族づれで集まって来ている。予定よりやや、おくれて10時20分、JFITLTの司会で總會が始まる。

JJA1ERJ フェスティバル実行委員長の開会の辞と経過報告のあと、JHIJZL 平塚地域アマチュア無線クラブ会長が、「貴重な電波を趣味として使っているハムとして、すこしでも社会のためにお役に立てるべきであり、また電波障害に対しては十分な対策を立て、一般の方々に御迷惑をかけないように、一致団結して意義ある地域クラブとして今後発展すべきである」と力強いあいさつ。引続いてJARL神奈川県阿部支部長(代理)、日赤湘南血液センター田島課長ほか来賓の祝辞、祝電被露構成クラブ紹介と予定どおり進行して、JAICNSの閉会の辞で幕となる。

午後は平塚市と日赤神奈川県支部提供による映画でフェスティバルが始まる。

司会はかわってJH1EKR、午前の總會とは趣きをことにはなやかなムードがあふれる、多くのハムには歌よし音楽よし、マジックありと、お祭りさわぎにはことかかないのがハム、軽妙な司会によって次々とショーがくりひろげられる。

ステージにあがって来る人々は本職顔まけのうで、350名とふくれあがった会場は、拍手と笑いで一杯、またJA1YPSのアマチュアTVの公開実験、ハムメーカーの展示コーナーなど、広い体育館もこの日だけはハム色でうずめられている。会場入口では特にNHKの電波障害サービスカーが受信相談と電波障害対策に役かっている。ジャンク市と抽せん会でフェスティバルのフィナーレ、秋の日暮れも忘れて楽しい一日であった。なおこの催しに参加協力いただきましたメーカーやJARL神奈川支部、その他多くの方々に関係者一同心から御礼申し上げます。

## ＝構成クラブ＝

平塚アマチュア無線クラブ、コマヤマ無線クラブ、SHG、平塚七夕無線クラブ、パイロットペンシルハムクラブ、平塚市役所無線クラブ、パイロット平塚ハムクラブ、花水川アマチュア無線クラブ、K・Hハムクラブ、湘南ハムハンティングクラブ、平塚VHFクラブ、どんぐりアマ無線クラブ